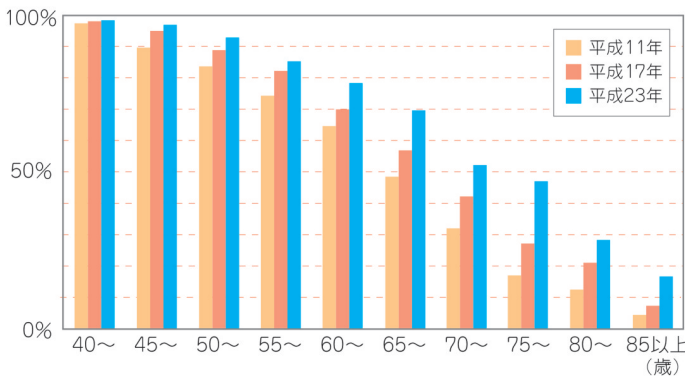


80歳で20本の歯が残っている人は・・・3人に1人



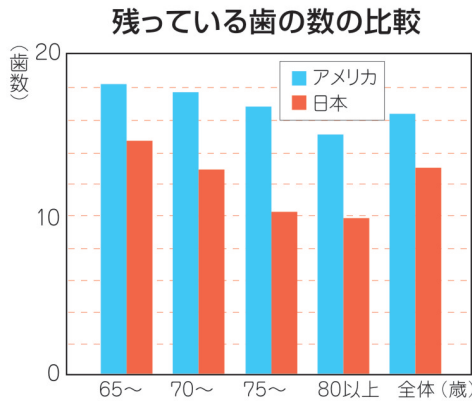
平成23年に実施された歯科疾患実態調査*では、80歳で20本以上の歯を有する者の割合は38.3%で平成17年の24.1%から比べると増加しています。

歯磨きや定期健診の受診など、歯やお口の健康に対する意識が高まったこともあるでしょう。



*歯科保健状況を把握し、今後の歯科保健医療対策の推進に必要な基礎資料を得ることを目的に、6年ごとに厚生労働省が実施している。

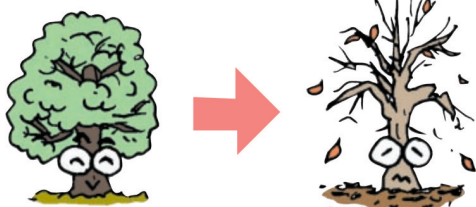
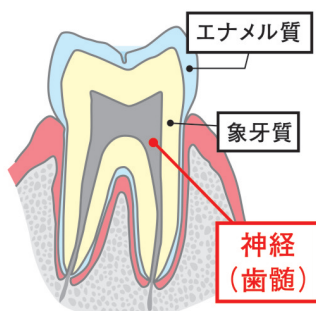
しかし、80歳の時点で残っている歯の平均本数は、アメリカと比べるとまだまだのようです。



今後さらに歯やお口の健康への意識が高まり、80歳の時点で残っている歯の本数は増えると思われます。しかし、歯が残っているということは歯周病への注意が必要になります。歯周病は生活習慣病とも言われています。定期健診の受診だけでなく、生活習慣への注意も必要です。

歯の神経の大切さ

むし歯で痛みがある時など「歯の神経をとります」といった言葉を使いますが、正しくは歯髄(しずい)といって神経や細かい血管の集まりです。歯髄は象牙質に栄養を送ったり、細菌が歯の内部に侵入しようとするのを防御する働きもあります。むし歯が進行し歯髄にまで達すると炎症を起こし痛みが出るため、歯髄を取ることになります。歯髄を取れば神経もなくなるため痛みはなくなりますが、歯髄を取った歯は木が枯れていくように、年月の経過とともにもろくなります。



歯髄を取った歯は、歯髄をとった部分を洗浄し薬を詰め、最終的には被せ物や詰め物をします。歯髄をとった歯は痛みを感じることができないため「知らないうちにむし歯が進行していた…」とならないようにしっかりケアすることが大切です。

歯の神経を守るポイント

①

毎日のケアと定期健診で、むし歯にならない

②

異常を感じたら早めに受診する

③

むし歯になったら早期治療で歯髄を守る